



甲斐ロータリークラブ

会長: 深澤由美子 幹事: 清水豊子 会計: 中澤謙一郎

第227号

2003年 6月 2日

第227回

例会日 毎週月曜日19:00～20:00 例会場 甲府富士屋ホテル TEL.055-253-8111
事務局 〒400-0856 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内 TEL 237-5475 FAX 231-1841

第226回 例会プログラム

青少年交換プログラムについて

次年度国際奉仕委員長の菅沼様と青少年交換委員長の小林様をお招きし、青少年交換プログラムについてお話いただきました。

「金銭面や手間の面でとても難しいプログラムであることに違いはないが、一人の交換留学生の飛躍的成長を直に見ることができる可能性のある素晴らしいプログラムだ。成功の秘訣はホストファミリーにある。あくまでもクラブ tクラブが基本のプログラムであるが、それを地区で補助金を出すなどしてサポートしながら成功させたい。」とご説明いただきました。当クラブではまだ経験がないプログラムですが、これから勉強してゆきましょう。

会長あいさつ(第226回 5月26日)

皆様こんばんは、先週は5周年記念コンサートでした。お客様をお迎えるのに会でしたが、入口での緊張はつかの間であとは久しぶりに心地よい音楽を楽しく聴く事が出来ました。今回の周年事業は当クラブにとってはとても良い経験になった事と思います。

さていよいよ私の年度も後1ヶ月を残すところまでできて、次年度は地区の「レディース・プログラム」の委員を仰せ付かっております。そこ

でここ数日ロータリーの会員とはと考えて、改めて綱領が示す職業奉仕について考えました。新会員もお迎えしていますので改めて綱領に触れますと、[ロータリーの綱領]はその原文が Object of Rotaryとあるように、ロータリーの目的です。

「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある」これに続いて下記の4項目が実践の説明として付帯されています。

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること
 2. 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること
 3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に、常に奉仕の理想を適用すること
 4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門業務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。
- これにより、ロータリークラブと他の奉仕団体との違いが明確になっています。つまりロータリーのみが職業奉仕という言葉を用いています。

ロータリーには、「He profits most who serves best」と「Service above self」の二つのモットーがあります。前者はアーサー・フレデリック・シェルドンが、後者は、ベンジャミン・フランクリン・コリンズが提唱した理念で、いずれも191年にポートランドで開催された第2回全米ロータリークラブ連合会大会で採択されたロータリーの公式標語です。

ロータリアンとしての職業奉仕は、4つのテストに基づいた職業倫理で経営がなされて、ロータリアンの企業が職業奉仕理念に基づいた正しい事業経営をし、それによって事業が継続的發展をすることを実証すれば、必ずや他の同業者たちもその経営方法を見習うはず。それが結果として、業界全体の職業倫理高揚につながるはずと云うところにあります。これが、He profits most who serves の真意です。そこで得たprofitsを個人として奉仕する事が原点だと教えています。

ロータリーの綱領や定款では、どのような奉仕活動の実践をすべきかについては定義されていません。奉仕活動実践はロータリアン個人やクラブの自由裁量権の範疇に入りますから、綱領では「奉仕の理念を適用する」と、抽象的に述べるに留め、個人奉仕はまったく個人の裁量権に委ね、クラブ・レベルのものはその大枠をクラブ細則で規定しているのです。

本日は地区の次期国際奉仕委員長をお迎えして、交換留学生受入等について学びますが、ロータリーの奉仕の原点を改めて認識し、また奉仕活動は行動する事にあるということも心してお話を伺いたいと思います。

青少年交換プログラムについての卓話

甲府南RC 菅沼清純

最初は、地区委員会活動をして初めてロータリーだと思っていた。しかし、最近ではロータリーの基本は各クラブであり、クラブに力がなければいけない、地区はクラブの手伝いをするだけである、と考えるようになった。

青少年交換プログラムは、お金もかかる大変なプログラム

裏面に続く

次回プログラム

新旧合同定例理事会

出席報告

前回の出席者	25名	出席率	73.53%
前回の欠席者	原 俊, 中澤謙一郎, 三富 久光, 酒井かおる, 溝口 秀夫, 京島 久幸, 平田 芳夫, 小林 和子		

第224回(5/12)修正出席率 82.35%

前回のビジター

地区国際奉仕委員会副委員長

菅沼 清純(甲府南RC)

地区青少年交換委員会委員長

小林 秀臣(甲府城北RC)

島田 一郎(甲府RC)



地区国際奉仕委員会副委員長
甲府南RC 菅沼清純 氏



地区青少年交換委員会委員長
甲府城北RC 小林秀臣 氏

ニコニコBOX

ゲスト

菅沼清純 (甲府南RC), 小林秀臣 (甲府城北RC)
お世話になります。

当クラブ

深澤由美子

菅沼様、小林様、本日は宜しく御願いたします。

アピオコンペ優勝しました。バンザイ!!

清水 豊子

菅沼様、小林様、本日は卓話、宜しく御願いたします。

深澤会長、ゴルフコンペ優勝おめでとうございます。

竹内 克雄

菅沼さま、小林さま、いらっしゃいませ。

竹内 克雄

本日、新会員歓迎会のカラオケ大会、久しぶりにわきあいあいと歌でも歌いましょう。

永井 慶喜

深澤会長、おめでとうございます。

甲府南RC菅沼さん、甲府城北RC小林さん、ようこそ。

清水 久

5周年コンサート、おつかれさまでした。

菅沼さん、小林さん、ようこそ。

志村 忠彦

深澤会長、優勝おめでとうございます。

さすが実力通りですね。

飯室 元邦

5周年コンサートお疲れさまでした。

菅沼さん、小林さん、よろしくご指導御願いたします。

島田さんようこそ!

小山 利行

甲府南RC菅沼様、甲府城北RC小林様、ようこそ。

三井 武雄

小山さん、先日はお世話になりました。ありがとうございました。

笹本 貴之

5月14日に次女、真琴(まこと)が生まれました。

高野 真六

白井会員、今日はありがとうございました。

深澤会長、優勝おめでとうございます。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局からのお知らせ

6月1日から以下が適用されますので、宜しくお取りはからいの程お願い申し上げます。

ロータリー・レートが6月1日から1ドル116円に変更されます。

6月は期末で送金が多くなりますので、お振込は6月20日までをお願いいたします。

RIへの送金(人頭分担金・資料代)専用口座、ロータリー財団への送金(寄付金)専用口座があり、

各口座の振替えは一切出来ませんので送金時にはご注意ください。専用口座はそれぞれの専用送金明細書に記載されています。財団への寄付は寄付者のID#を記入してください。クラブ寄付は指定のない限り年次寄付となります。

その他の送金にも送金明細書をファックスにてお送り下さい。

送金明細書がないと未処理扱いとなり、送金明細書が到着した時点でのロータリー・レートが適用されます。

であることには間違いのない。数ヶ月間外国人が家庭に入ってくることを考えればご理解いただけると思う。

実施する上では、甲斐RC全会員のコンセンサスが不可欠であり、ホストファミリーが成功のキーポイントを握っている。

しかし、必ずやりがいと貴重な体験をもたらすプログラムであることは約束できる。

甲府城北RC 小林秀臣

4年前、「富士登山とスキー」という行事があって、その時指導したブラジルの女の子がホストクラブと折り合いが悪くなり帰ると言い出した。しかし、城北RCがホストクラブとして引き受け面倒を見たところ、帰ると言い続けた子が帰りたくないと言い出した。高校生の年代の子は、劇的に変わるものである。日本から外国へ行った子供たちも、著しい成長を見せる。行く前は、下を向いて原稿を読んでいたのが、帰ってくると顔を上げて堂々と自分の意見をスピーチする。

このプログラムは、お金がかかるのがネックである。そこで、ガバナーに掛け合った結果、80万円 - (会員数 × 1万円)を目安に地区より補助金が出るようになった。例えば会員数30名であれば、差額50万円が支給される。実例を挙げると、城北RCがホストクラブとして甲府一高へ受け入れたとき約65万円(40万円の補助金がかかる予定)かかった。モデルケースとして、ホストクラブのやり方で23万円から120万円の幅がある。ホストファミリーは、ロータリアンである必要はないが、学生に様々な経験を積んで貰うために4家族以上での対応が望ましいと思う。